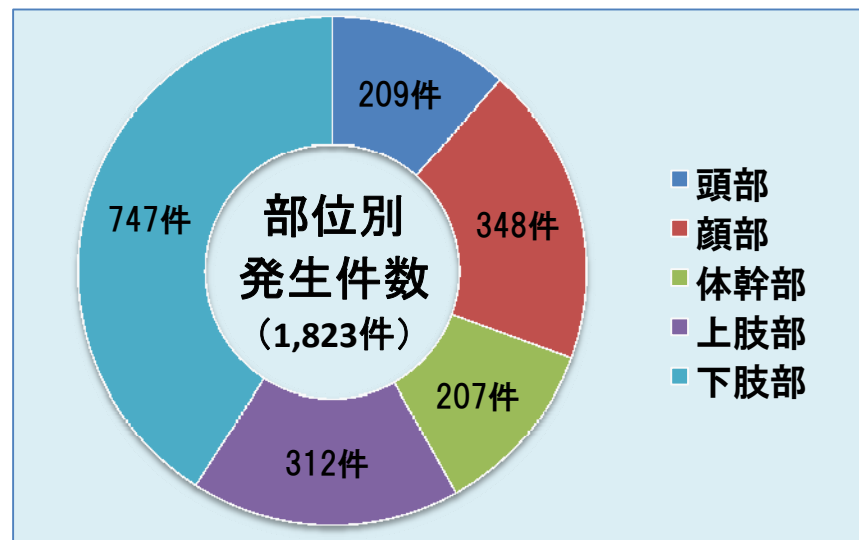


フールのけがに気をつけよう！(中学校編)

1. 体のどこをけがするのか？

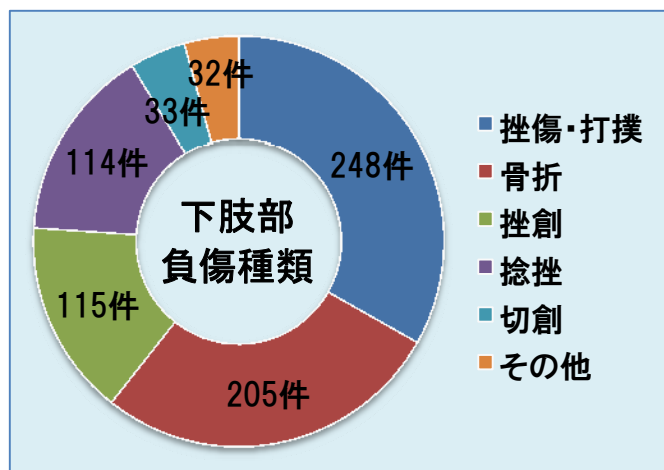
平成21年度に中学校のプールで発生した事故について、体のどの部位を怪我したのか分析したところ、右のグラフの通り、

- 1位 下腿部 747件
- 2位 顔部 348件
- 3位 上肢部 312件



という結果となりました。

中学校では、下腿部のけがが全体の40%以上を占めています。



さらに分析すると、下腿部の中でも挫傷・打撲、骨折が多く、約60%発生しています。

それでは、下腿部を中心に中学校のプールで多く見られる災害事例を見てみましょう。



2. どんな時にけがをしているかな？



泳いでいる時に前の人の手足がぶつかったり、ターンをする際に足指や手指を壁に強打しての負傷が目立ちます。また、勢いよく入水してけがをする事例も見受けられます。

その他、プールサイドで歩いている時に転んだり、ベンチや段差に足をぶつけてけがすることや、ふざけていてけがすることが多いようです。落ち着いて行動しましょう。



学年	負傷種類	負傷部位	発生状況
1年	骨折	足・足指部	プール入水時に、足から飛び込んだ時、左足の薬指をプールの床で打った。
2年	挫傷・打撲	足・足指部	クロールのターンでキックした時、左足の親指をプールの壁に強打してしまった。
1年	挫傷・打撲	足・足指部	プールサイドを走っていて鉄板の蓋に足がひっかかり負傷した。
2年	骨折	手・手指部	平泳ぎをしていたところ前から泳いできた友人の手が本人の左手に強くぶつかってしまった。
1年	挫傷・打撲	眼部	準備中にふざけていた生徒がビート板を振り上げた際、後ろにいた本人の顔にビート板が当たった。